

教科	美術科	学年	3 学年	標準授業時間数	3 5 時間（週 1 時間）
----	-----	----	------	---------	----------------

目 標	教科目標	主体的に美術の表現や鑑賞の活動に取り組み、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。また、自然や美術作品・文化遺産などについての理解や見方を深め、そのよさや美しさを味わう鑑賞の能力を高める。
	具体目標 (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 用具を忘れずに準備し、きちんと片づけ、意欲的に作品の制作に取り組む。 ・ 発想能力を十分に働かせ、創意工夫をする。 ・ 色や形の性質や様々な用具の正しい使用法を理解し、美しい表現へと生かす。 ・ 自分や他の生徒の作品・その他の美術作品の鑑賞を通して、よさや課題を発見しその後の表現活動に生かす。

評 価	観 点	美術への関心 ・ 意欲・態度	主体的に表現や鑑賞の活動に取り組み、その喜びを味わい美術を愛好していこうとする。
		発想や構想 の能力	感性や想像力を働かせ、感じ取ったことや考えたことなどをもとに豊かに発想する。
		創造的な技能	表現の技能を身につけ自分なりの表現方法を創意工夫し創造的に表す。
		鑑賞の能力	様々な美術作品に親しみ、よさや美しさを感じ取ったり、理解する。
	材 料	・ 作品 ・ クロッキー帳 ・ 鑑賞カード ・ 自己評価カード	
方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・ アイデアスケッチや資料収集を行っているか ・ 鑑賞カードや自己評価カードをきちんと考え記入しているか ・ 作品の提出期限を守り、最後まで丁寧に制作しているか ・ 定期テスト 以上のことを中心に総合的に判断する。		

学 習 方 法	使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書 美術 2・3 下 美術の広がり（日文） ・ 副教材 美術資料広島県版（秀学社） 	
	学習形態	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主に、美術室で授業を行う。 ・ 個人制作・学習を基本とするが、単元や内容によってはグループ制作・学習をする。 	
	学 習 進 め 方	学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 制作過程を十分理解した上で、資料などを利用しアイデアスケッチをするなど構想を練る。 ・ 提出期限を必ず守り、意欲を持って最後まで丁寧に制作する。 ・ わからないことなどは質問し、より質の高い作品の制作を目指す。 ・ 生徒作品や美術作品のよさや美しさを素直に感じ取り、それを自分の表現活動へと結びつける。 ・ 自分の作品に自信を持ち、がんばったことなどを語れるようにし、また、他の生徒の作品や美術作品のよさを認めることができるようになる。
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書の解説や、授業において記録した事柄などをしっかり読み返し、理解する。 ・ 授業で配布されたプリントや資料などを参考にして、様々なアイデアを練る。 ・ 自分の表現意図や課題を明確にし、資料をできるだけたくさん集め整理する。 ・ 構想や作業に時間や手間がかかるときは、家庭学習で補う。 	

学習内容

月	単元名・項目	学習のポイント
4 5 6	<ul style="list-style-type: none"> ・メッセージとしての美術 〈木版画 ピカソの表現に学ぶ〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃感じている問題について理解を深め、その中から自分なりのメッセージを紡ぎ出して、木版画で表現してみる。 ・表したいイメージにあった技法で彫りや刷りの作業を工夫し、効果的にいきいきと表す。
7 9	<ul style="list-style-type: none"> ・動物たちとともに 〈木彫〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間とともに暮らす動物への思いや情景を立体表現で表す。 ・立体としての表現の工夫や空間を創造的に表す。 ・彫刻の材料や技法に関心を高め、表現方法を工夫する。
10 11 12	<ul style="list-style-type: none"> ・空間表現の不思議 〈立体感のある構成〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・立体感や奥行きの基本となる表し方を学習し、立体感のある表現をする。 ・不思議な見え方について学習し、現実にはあり得ない錯視や不合理な立体を表す。 ・立体感のある表現や不合理な表現を通して、視覚を惑わすことの楽しさを味わう。
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ルネサンスの魅力 〈鑑賞レポート〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・イタリアとフランドルに代表されるルネサンスの名作を鑑賞し、それぞれのよさを味わうとともに、各作品に込められた巨大なエネルギーを感じ取る。
2 3	<ul style="list-style-type: none"> ・ともにつくる思い出 〈クラフトストーン〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間とともに発想したり、作業をしたりする楽しさを味わい、協調や協力について考える。 ・主題を素に立体としての表現の工夫をし、空間を創造的に表す。
年間	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞会 	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの作品や様々な美術作品の鑑賞を通してよさを発見し、自分の作品制作に生かす。